

雑草イネに注意しましょう！！

平成 29 年 9 月

芳賀農業振興事務所

最近、芳賀地方で「雑草イネ」の発見事例が増えつつあります。

Q.あなたの水稻栽培ほ場に、このような稲はありませんでしたか？

- 1 栽培品種と出穂期や草丈、稈長が異なる（写真1）
- 2 芒が長い、心先が着色している（写真2）
- 3 風や接触によって、容易に脱粒する（写真3）
- 4 粳もしくは玄米が着色している（写真4）
- 5 出荷時の検査で「着色米」や「赤米」混入等の指摘を受けた

これらに該当する場合、それは雑草イネかもしれません！（特に3～5は雑草イネの可能性が高い）



写真1



写真2



写真3



写真4

雑草イネは極めて脱粒しやすく、水田内で容易に拡散していきます。さらに、農業機械（コンバイン、ロータリー等）に付着して他の水田へも拡散します。休眠性があるためダラダラと発生するため、除草剤の1回処理では防除しきれません。

【雑草イネ防除対策】〔一度発生すると、3年間は徹底した防除が必要です〕

- ① 雑草イネに効果のある除草剤の体系処理（初期剤＋初中期一発剤＋中期剤の3剤体系が基本）
例：初期剤（サキドリ1 扣粒剤、エリジャン乳剤等）、初中期一発剤（エーワン1 扣粒剤、ポデーガード1 扣粒剤等）、中期剤（ナイスミドル1 扣粒剤、ザーベックス DX1 扣粒剤等）
- ② 生育期の畦間漏生および出穂期の抜取り
- ③ 秋耕をせず、雑草イネ種子を鳥に食べさせたり、冬の寒さにさらして死滅させる
- ④ 田畑転換（夏季の大豆やそば等の作付）

「雑草イネかも!？」と思ったら、下記にご相談ください

芳賀農業振興事務所経営普及部農畜産課 TEL0285-82-3074